

平成29年度 第2回石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議 資料

日時：平成29年12月14日（木）

場所：石狩市北石狩衛生センター 会議室

石狩市

平成29年度第2回石狩市北石狩衛生センター運営モニタリング会議

資料一覧

資料-①	運営・維持管理・環境管理モニタリング評価結果	P1～3
資料-②	北石狩衛生センター運営管理状況評価表（4月期～9月期分）	P4～39
資料-③	財務状況モニタリング結果 第6期（平成28年4月～平成29年3月）	P40～42
	財務状況モニタリング結果 第5期（平成27年4月～平成28年3月）	P43～45
参考資料-①	北石狩衛生センター長期包括的運営管理委託事業モニタリング要領	P46～54
参考資料-②	北石狩衛生センター運営管理状況評価基準	P55～58

平成29年4月～平成29年9月 運営・維持管理・環境管理モニタリング評価結果

(平成29年度上半期)

業務名		配点	4月期 評価点	5月期 評価点	6月期 評価点	7月期 評価点	8月期 評価点	9月期 評価点
共通	運営管理	12.0	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4	10.4
	防災管理	6.0	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
	その他	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
建築・計量棟	計量	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	建築物管理	6.0	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
焼却施設	運転管理	14.0	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8	12.8
	維持管理	11.0	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
破碎施設	運転管理	8.0	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
	維持管理	11.0	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
最終処分場	運転管理	14.0	11.6	11.6	11.6	11.6	11.6	11.6
	維持管理	11.0	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
評価点数(合計)		100.0	81.6	81.6	81.6	81.6	81.6	81.6
総合評価			A	A	A	A	A	A

～主なトピック～

【4月期】

◎焼却施設では、4/3に2号炉が稼動直後に停止した。原因は、乾燥ストーカ内における部品が引っ掛かったことによるもので、部品を一部削る等で対処し運転を再開した。再開後、4/17の週は1号から2号運転に対応している。

⇒施設の異常時に対応している。【緊急時の対応】

【5月期】

◎破碎施設では、5/10に爆発が発生し、カメラ照明器具等のベースとなる部分が破損した。また、5/18には、振動コンベア上にごみが出ていないことを確認した。原因は5/10の爆発により、コンベアの部品が落下し、ごみの通過を妨げたことによる。この日は応急処置を行い対処し、その後の運転に支障なし。本格的な補修は年度内に実施する予定である。

⇒施設の異常時に対応している。【緊急時の対応】

【6・7月期】

◎焼却施設では、6/16から6/20に1号炉、7/7～11に2号炉のPLC（施設のプログラムを制御するコントローラー）の更新を行った。その後の運転に支障なし。

⇒機器の補修に対応している。【平常時の対応】

【8月期】

◎焼却施設では、8/1に、1号炉の天井部分のキャスター（耐火物）が剥がれ、アンカー（金属の部分）がむき出しになったため緊急補修した。

⇒施設の補修に対応している。【緊急時の対応】

◎焼却施設では、8/2に、プラットホームの№2投入部の架台・底板を交換した。

⇒施設の補修に対応している。【緊急時の対応】

【9月期】

◎焼却施設では、9/22、9/30にごみ及び灰クレーンの年次点検を実施した。

⇒機器の補修に対応している。【平常時の対応】

焼却施設フローシート

■ごみの流れ

- 1) 収集したごみは計量後、ごみピットに貯留
- 2) ごみクレーンで投入ホッパに投入
- 3) ホッパからシュート部を通り、フィーダ上に到達
- 4) フィーダ（給じん装置）で押し出され、乾燥ストーカ上に落下
- 5) 独特の往復動式ストーカでかく拌、乾燥され、燃焼ストーカ上に落下
- 6) 激しくかく拌されながら勢よく燃焼し、さらに後燃焼ストーカ上に落下して完全に灰化

■灰の流れ

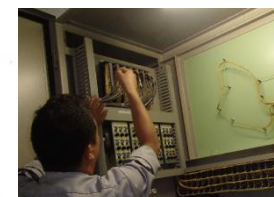
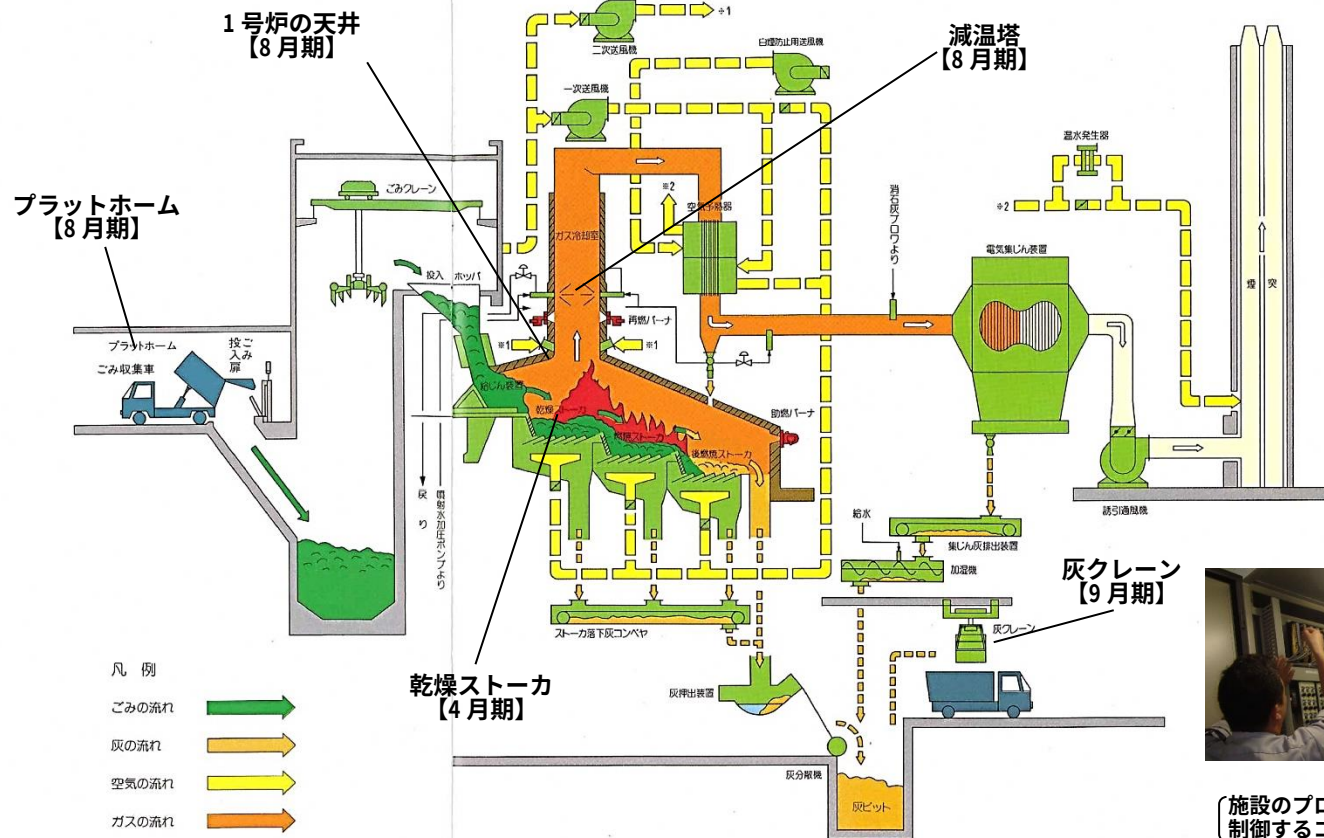
- 1) 後燃焼ストーカより灰押出装置に落下
- 2) 装置内水槽で消火・冷却
- 3) 灰押出装置で水切りされ半湿状になった灰は、灰ビットへ運ばれ、灰出トラックで埋立地に搬出
- 4) ストーカ下に落下した細かい灰は落下灰コンベヤで自動的に灰押出装置へ
- 5) 電気集じん装置で捕集した飛灰は加湿後灰ビットへ

■燃焼用空気の流れ

- 1) 燃焼用空気は一次送風機、二次送風機によりごみピット室から吸引し、一次送風機では、空気予熱器を通して各ストーカに圧送
- また、二次送風機で焼却炉内に圧送

■ガスの流れ

- 1) 高温燃焼ガスはガス冷却室へ入り、水噴射により400℃前後まで冷却
- 2) 次に空気予熱器に入り、燃焼用空気と熱交換してさらに200℃前後まで冷却
- 3) 冷却されたガスは、集じん装置と有害ガス除去装置により、きれいにガス処理
- 4) 処理後のきれいなガスは、誘引通風機により煙突から大気中に拡散

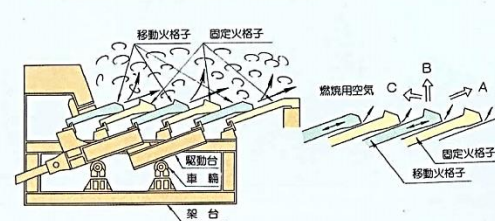


PLC
〔施設のプログラムを
制御するコントローラー〕
〔6,7月期〕

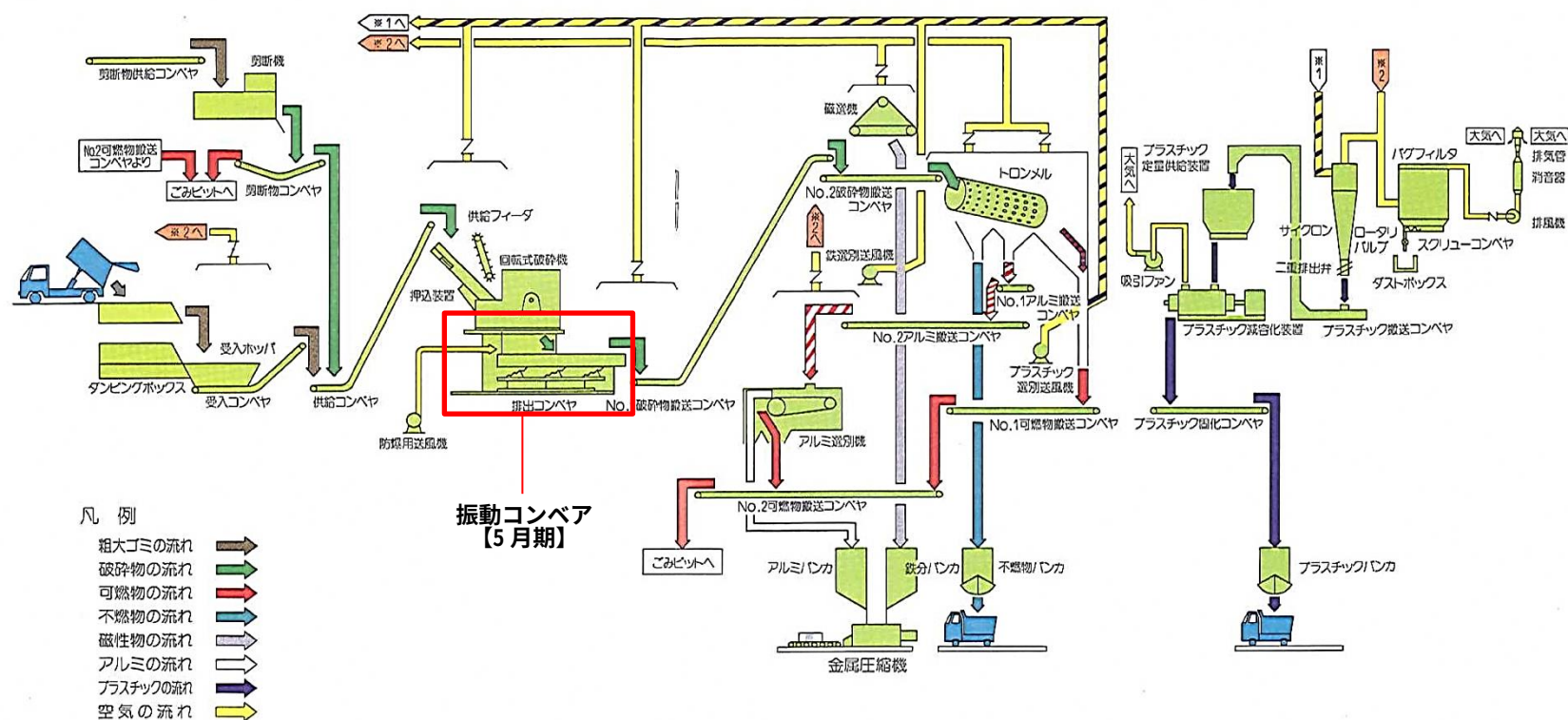
■往復動式ストーカ

火格子の往復運動により、ごみを斜め後方に押し出すと同時に、ごみ層の下部から上部に突き上げる作用を行い、ごみが下から上に湧き出るような独特のかく拌運動が起きます。移動火格子の先端は、押し出し用に用いる面(A)、突き上げに用いる面(B)、引き戻しに用いる面(C)の3面から構成されています。

三菱SGF形往復動式ストーカ構造図



破碎施設フローシート

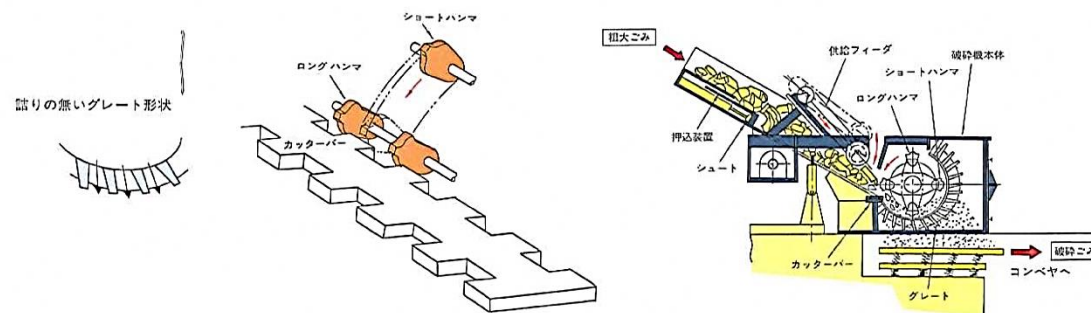


■施設の特長

この破碎施設は、家庭から排出される粗大ごみ、不燃ごみを対象に、受入れから破碎、選別、積出しまでの機能をもった施設で、次のようなことを配慮して建設しています。

- 1) 供給コンベヤへの投入、作業の高効率化を図る投入ホッパ及びダンピングボックスの設置
- 2) 破碎機供給側には、供給フィーダ、押込装置を設置し、ごみの詰りを防止
- 3) 破碎装置は、実績豊富な、三菱-シュレツダの設置
- 4) 破碎されたごみは、磁選機、トロンメル及びアルミ選別機により5種（鉄類、不燃物、可燃物、プラスチック類、アルミ類）に選別
- 5) 工業用テレビを主体にした遠隔集中制御方式の採用
- 6) 緑化を十分に取入れた環境の美化
- 7) 二次公害（騒音、振動、粉じん）の発生しない施設

■破砕機（三菱-シュレッダ）の特長



北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 表 >

【平成29年度 4月期】

環境市民部

評価表の入力方法について

- ① 下記の「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「良」～「不可」の3段階評価を行う。
- ② 各項目の点数は、「良」～「不可」を入力することにより、基礎点に係数を乗じた点数が自動計算される。
- ③ 各項目の点数が合算され、総合得点が算出される。
- ④ 総合得点を基に自動計算により、「A」～「C」までの総合評価がなされる。
- ⑤ 市は総合評価を毎月行い「確認通知書」により、事業者へ通知する。
- ⑥ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合は、市は是正勧告等について協議するものとする。

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況評価表 (平成29年5月10日モニタリング)

総合得点	総合評価	
80点以上	A	事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。
80点未満 60点以上	B	事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。
60点未満	C	業務内容が要求水準を満たしていると認められない。

評価	係数	業務内容に対する評価の考え方
良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評価	得点
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	3.0	良	3.00
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	3.0	良	3.00
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		12.0	—	10.40
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	2.0	良	2.00
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	2.0	良	2.00
		小計		4.0	—	4.00

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	3.0	良	3.00
		小計		3.0	—	3.00
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
焼却施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		14.0	—	12.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60
破碎施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		8.0	—	6.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
最終処分場	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	3.0	可	1.80
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	11.60
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
小計			11.0	—	8.60	
合計			100.0	—	81.60	

評価点 81.60

総合評価点

A

北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 表 >

【平成29年度 5月期】

環境市民部

評価表の入力方法について

- ① 下記の「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「良」～「不可」の3段階評価を行う。
- ② 各項目の点数は、「良」～「不可」を入力することにより、基礎点に係数を乗じた点数が自動計算される。
- ③ 各項目の点数が合算され、総合得点が算出される。
- ④ 総合得点を基に自動計算により、「A」～「C」までの総合評価がなされる。
- ⑤ 市は総合評価を毎月行い「確認通知書」により、事業者へ通知する。
- ⑥ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合は、市は是正勧告等について協議するものとする。

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況評価表 (平成29年6月7日モニタリング)

総合得点	総合評価		評価	係数	業務内容に対する評価の考え方
80点以上	A	事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。	良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
80点未満 60点以上	B	事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。	可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
60点未満	C	業務内容が要求水準を満たしていると認められない。	不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	3.0	良	3.00
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	3.0	良	3.00
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		12.0	—	10.40
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	2.0	良	2.00
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	2.0	良	2.00
		小計		4.0	—	4.00

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	3.0	良	3.00
		小計			3.0	—
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		小計			6.0	—
焼却施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	12.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			11.0	—	8.60
破碎施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			8.0	—	6.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			11.0	—	8.60

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
最終処分場	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	3.0	可	1.80
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	11.60
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
小計			11.0	—	8.60	
合計			100.0	—	81.60	

評価点

81.60

総合評価点

A

北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 表 >

【平成29年度 6月期】

環境市民部

評価表の入力方法について

- ① 下記の「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「良」～「不可」の3段階評価を行う。
- ② 各項目の点数は、「良」～「不可」を入力することにより、基礎点に係数を乗じた点数が自動計算される。
- ③ 各項目の点数が合算され、総合得点が算出される。
- ④ 総合得点を基に自動計算により、「A」～「C」までの総合評価がなされる。
- ⑤ 市は総合評価を毎月行い「確認通知書」により、事業者へ通知する。
- ⑥ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合は、市は是正勧告等について協議するものとする。

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況評価表 (平成29年7月7日モニタリング)

総合得点	総合評価	
80点以上	A	事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。
80点未満 60点以上	B	事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。
60点未満	C	業務内容が要求水準を満たしていると認められない。

評価	係数	業務内容に対する評価の考え方
良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評価	得点
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	3.0	良	3.00
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	3.0	良	3.00
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		12.0	—	10.40
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	2.0	良	2.00
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	2.0	良	2.00
		小計		4.0	—	4.00

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	3.0	良	3.00
		小計		3.0	—	3.00
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
焼却施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		14.0	—	12.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60
破碎施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		8.0	—	6.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
最終処分場	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	3.0	可	1.80
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	11.60
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
小計			11.0	—	8.60	
合計			100.0	—	81.60	

評価点 81.60

総合評価点

A

北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 表 >

【平成29年度 7月期】

環境市民部

評価表の入力方法について

- ① 下記の「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「良」～「不可」の3段階評価を行う。
- ② 各項目の点数は、「良」～「不可」を入力することにより、基礎点に係数を乗じた点数が自動計算される。
- ③ 各項目の点数が合算され、総合得点が算出される。
- ④ 総合得点を基に自動計算により、「A」～「C」までの総合評価がなされる。
- ⑤ 市は総合評価を毎月行い「確認通知書」により、事業者へ通知する。
- ⑥ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合は、市は是正勧告等について協議するものとする。

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況評価表 (平成29年8月9日モニタリング)

総合得点	総合評価		評価	係数	業務内容に対する評価の考え方
80点以上	A	事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。	良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
80点未満 60点以上	B	事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。	可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
60点未満	C	業務内容が要求水準を満たしていると認められない。	不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評価	得点
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	3.0	良	3.00
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	3.0	良	3.00
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		12.0	—	10.40
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	2.0	良	2.00
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	2.0	良	2.00
		小計		4.0	—	4.00

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	3.0	良	3.00
		小計		3.0	—	3.00
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
焼却施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		14.0	—	12.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60
破碎施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		8.0	—	6.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
最終処分場	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	3.0	可	1.80
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	11.60
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
小計			11.0	—	8.60	
合計			100.0	—	81.60	

評価点 81.60

総合評価点

A

北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 表 >

【平成29年度 8月期】

環境市民部

評価表の入力方法について

- ① 下記の「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「良」～「不可」の3段階評価を行う。
- ② 各項目の点数は、「良」～「不可」を入力することにより、基礎点に係数を乗じた点数が自動計算される。
- ③ 各項目の点数が合算され、総合得点が算出される。
- ④ 総合得点を基に自動計算により、「A」～「C」までの総合評価がなされる。
- ⑤ 市は総合評価を毎月行い「確認通知書」により、事業者へ通知する。
- ⑥ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合は、市は是正勧告等について協議するものとする。

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況評価表 (平成29年9月6日モニタリング)

総合得点	総合評価	
80点以上	A	事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。
80点未満 60点以上	B	事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。
60点未満	C	業務内容が要求水準を満たしていると認められない。

評価	係数	業務内容に対する評価の考え方
良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評価	得点
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	3.0	良	3.00
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	3.0	良	3.00
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		12.0	—	10.40
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	2.0	良	2.00
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	2.0	良	2.00
		小計		4.0	—	4.00

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	3.0	良	3.00
		小計		3.0	—	3.00
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
焼却施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		14.0	—	12.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60
破碎施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		8.0	—	6.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
最終処分場	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	3.0	可	1.80
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	11.60
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
小計			11.0	—	8.60	
合計			100.0	—	81.60	

評価点 81.60

総合評価点

A

北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 表 >

【平成29年度 9月期】

環境市民部

評価表の入力方法について

- ① 下記の「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「良」～「不可」の3段階評価を行う。
- ② 各項目の点数は、「良」～「不可」を入力することにより、基礎点に係数を乗じた点数が自動計算される。
- ③ 各項目の点数が合算され、総合得点が算出される。
- ④ 総合得点を基に自動計算により、「A」～「C」までの総合評価がなされる。
- ⑤ 市は総合評価を毎月行い「確認通知書」により、事業者へ通知する。
- ⑥ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合は、市は是正勧告等について協議するものとする。

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況評価表 (平成29年10月5日モニタリング)

総合得点	総合評価	
80点以上	A	事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。
80点未満 60点以上	B	事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。
60点未満	C	業務内容が要求水準を満たしていると認められない。

評価	係数	業務内容に対する評価の考え方
良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評価	得点
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	3.0	良	3.00
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	3.0	良	3.00
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	2.0	可	1.20
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		12.0	—	10.40
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	2.0	良	2.00
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	2.0	良	2.00
		小計		4.0	—	4.00

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	3.0	良	3.00
		小計		3.0	—	3.00
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		小計		6.0	—	3.60
焼却施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		14.0	—	12.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60
破碎施設	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		8.0	—	6.80
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
		小計		11.0	—	8.60

評価項目			業務内容	基礎点	評価点	
					評 価	得 点
最終処分場	運転管理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	3.0	可	1.80
		環境測定	環境測定を行っているか	3.0	良	3.00
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	3.0	良	3.00
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
	小計			14.0	—	11.60
	維持管理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	3.0	可	1.80
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	3.0	良	3.00
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	3.0	可	1.80
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	2.0	良	2.00
小計			11.0	—	8.60	
合計			100.0	—	81.60	

評価点 81.60

総合評価点

A

S P C の財務状況調査及び評価

1. 第6期（平成28年4月～平成29年3月）の財務状況

第6期におけるS P Cの財務内容について、一般的な財務分析指標を用いて経営分析を行った結果を表1に示す。

表1. 経営分析結果

単位:円、%

項目	指標	第6期 (H28年4月1日～H29年3月31日)		備考
		数値	チェック欄	
損益計算書	売上高	427,931,800		
	営業利益	48,565,166		
	経常利益	47,167,318		
収益性	(1) 総資本経常利益率	15.7%	○	高い方が望ましい
	(2) 自己資本経常利益率	31.8%	○	高い方が望ましい
	(3) 売上高経常利益率	11.0%	○	高い方が望ましい
安全性	(4) 流動比率	294.3%	○	200%以上が目安
	(5) 当座比率	291.4%	○	100%以上が目安
	(6) 自己資本比率	49.3%	○	高い方が望ましい
	(7) 固定比率	9.8%	○	100%以下が目安
	(8) 固定長期適合率	7.1%	○	100%以下が目安
キャッシュフロー	(9) 営業キャッシュフロー	-110,718	○	
	(10) 投資キャッシュフロー	58,395	○	
	(11) 財務キャッシュフロー	-11,200,000	○	
	(12) 現預金増減額	-11,252,323	○	

2. 第6期（平成28年4月～平成29年3月）の評価

区分	評価
収益性	第6期は第5期と比較して、指標毎の増減はあるが、(1) 総資本経常利益率、(2) 自己資本経常利益率、(3) 売上高経常利益率のいずれもプラスとなっており、問題はない。
安全性	(4) 流動比率、(5) 当座比率、(7) 固定比率、(8) 固定長期適合率は、いずれも目安の値をクリアして

	いる。 (6) 自己資本比率は順調に利益が蓄積され、長期借入金も滞りなく返済されていることにより、自己資本が年々増加し、負債の部が減少しているので、順調に上昇している。
キャッシュフロー	今期は前年度に増加した買掛金が減少したため、キャッシュアウトが多く発生したため、営業キャッシュフローがマイナスとなったが、負債の部が減少し、自己資本比率の増加につながった。 財務キャッシュフローは借入金の返済によりマイナスとなっている。 以上により、キャッシュフローはマイナスとなったが、経常利益の確保、現金同等物の確保ができている上、自己資本比率の上昇など、財務状況としては悪くはない。
総括	収益性・安全性・キャッシュフローのいずれも良好な結果を示している。第6期の財務状況としては概ね良好と判断する。

なお、本分析にあたっては下記の財務諸表等を用いた。

☐監査報告書 ☐貸借対照表 ☐損益計算書 ☐キャッシュフロー計算書
☐株主資本等変動計算書 ☐勘定科目内訳書 ☐資金繰り表

3. 参考

分析に用いた経営指標について

(1) 総資本経常利益率

企業の収益性を表す指標。調達した資本を使って、どれだけ経常利益を出せたかを表すものであり、比率は高いほうが良い。

(2) 自己資本経常利益率

企業の収益性を表す指標。自己資本を効果的に使っているかを表すものであり、比率は高いほうが良い。

(3) 売上高経常利益率

企業の収益性を表す指標。売上に対する利益の割合であり、比率は高い

ほうが良い。

(4) 流動比率

企業の安全性を表す指標。短期的な支払い能力を示すものであり、比率は高いほうが良い。200%以上であれば理想的と言われている。

(5) 当座比率

企業の安全性を表す指標。短期的な支払い能力を流動比率よりも厳密に示すものであり、比率は高いほうが良い。100%以上であれば問題はないと言われている。

(6) 自己資本比率

企業の安全性を表す指標。総資本に対する自己資本の割合を示すものであり、比率は高いほうが良い。

(7) 固定比率

企業の安全性を表す指標。固定資産をどの程度自己資本で賄っているかを表すものであり、100%を超えないのが理想とされている。

(8) 固定長期適合率

企業の安全性を表す指標。固定資産をどの程度長期資金で賄っているかを表すものであり、100%を超えないのが理想とされている。

(9) 営業キャッシュフロー

本業の営業活動によって増減したキャッシュの金額。プラスの場合は事業が順調であると判断できる。

(10) 投資キャッシュフロー

固定資産の取得や売却など投資活動によって増減したキャッシュの金額。投資活動によるキャッシュ流出（設備投資等）が営業活動によるキャッシュ獲得の範囲内であれば問題はない。

(11) 財務キャッシュフロー

資金の調達、借入金の返済、配当金の支払など財務活動によって増減したキャッシュの金額。財務活動によるキャッシュ流出（借入金返済等）が営業活動と投資活動によるキャッシュ獲得の範囲内であれば問題はない。

(12) 現預金増減額

営業・投資・財務各キャッシュフローの合計額。プラスであれば問題はない。

S P C の財務状況調査及び評価

1. 第5期（平成27年4月～平成28年3月）の財務状況

第5期におけるS P Cの財務内容について、一般的な財務分析指標を用いて形成分析を行った結果を表1に示す。

表1. 経営分析結果

単位:円、%

項目	指標	第5期 (H27年4月1日～H28年3月31日)		備考
		数値	チェック欄	
損益計算書	売上高	428,736,600		
	営業利益	44,935,230		
	経常利益	43,288,885		
収益性	(1)総資本経常利益率	13.90%	○	高い方が望ましい
	(2)自己資本経常利益率	37.30%	○	高い方が望ましい
	(3)売上高経常利益率	10.10%	○	高い方が望ましい
安全性	(4)流動比率	229.90%	○	200%以上が目安
	(5)当座比率	2280.00%	○	100%以上が目安
	(6)自己資本比率	37.20%	○	高い方が望ましい
	(7)固定比率	12.60%	○	100%以下が目安
	(8)固定長期適合率	8.00%	○	100%以下が目安
キャッシュフロー	(9)営業キャッシュフロー	64,076,724	○	
	(10)投資キャッシュフロー	72,993	○	
	(11)財務キャッシュフロー	-11,200,000	○	
	(12)現預金増減額	52,949,719	○	

2. 第5期（平成27年4月～平成28年3月）

項目	評価
収益性	第5期は(1)総資本経常利益率、(2)自己資本経常利益率、(3)売上高経常利益率のいずれもプラスとなっている。また、第4期と比較しても、すべての項目で上回っており、問題はない。
安全性	(4)流動比率、(5)当座比率、(7)固定比率、(8)固定長期適合率は、いずれも目安をの値をクリアしている。 (6)自己資本比率は順調に利益が蓄積され、長期借入金も滞りなく返済されていることにより、自己資本が年々増加し、負債の部が減少しているので、順調に上昇している。

キャッシュフロー	今期は支出の期ずれが起こらなかったため、営業キャッシュフローがプラスとなった。 財務キャッシュフローは借入金の返済によりマイナスとなっているが、営業活動と投資活動によるキャッシュ獲得の範囲内に収まっている。 以上により、キャッシュフローに問題はない。
総括	収益性・安全性・キャッシュフローのいずれも良好な結果を示している。第5期の財務状況としては概ね良好と判断する。

なお、本分析にあつては下記の財務諸表等を用いた。

☐監査報告書 ☐貸借対照表 ☐損益計算書 ☐キャッシュフロー計算書
☐株主資本等変動計算書 ☐勘定科目内訳書 ☐資金繰り表

3. 参考

分析に用いた経営指標について

- (1) 総資本経常利益率
企業の収益性を表す指標。調達した資本を使って、どれだけ経常利益を出せたかを表すものであり、比率は高いほうが良い。
- (2) 自己資本経常利益率
企業の収益性を表す指標。自己資本を効果的に使っているかを表すものであり、比率は高いほうが良い。
- (3) 売上高経常利益率
企業の収益性を表す指標。売上に対する利益の割合であり、比率は高いほうが良い。
- (4) 流動比率
企業の安全性を表す指標。短期的な支払い能力を示すものであり、比率は高いほうが良い。200%以上であれば理想的と言われている。
- (5) 当座比率
企業の安全性を表す指標。短期的な支払い能力を流動比率よりも厳密に示すものであり、比率は高いほうが良い。100%以上であれば問題はないと言われている。
- (6) 自己資本比率
企業の安全性を表す指標。総資本に対する自己資本の割合を示すものであり、比率は高いほうが良い。
- (7) 固定比率
企業の安全性を表す指標。固定資産をどの程度自己資本で賄っているかを表すものであり、100%を超えないのが理想とされている。
- (8) 固定長期適合率
企業の安全性を表す指標。固定資産をどの程度長期資金で賄っているかを表すものであり、100%を超えないのが理想とされている。
- (9) 営業キャッシュフロー
本業の営業活動によって増減したキャッシュの金額。プラスの場合は事業が順調であると判断できる。
- (10) 投資キャッシュフロー
固定資産の取得や売却など投資活動によって増減したキャッシュの金額。

投資活動によるキャッシュ流出（設備投資等）が営業活動によるキャッシュ獲得の範囲内であれば問題はない。

(11) 財務キャッシュフロー

資金の調達、借入金の返済、配当金の支払など財務活動によって増減したキャッシュの金額。財務活動によるキャッシュ流出（借入金返済等）が営業活動と投資活動によるキャッシュ獲得の範囲内であれば問題はない。

(12) 現預金増減額

営業・投資・財務各キャッシュフローの合計額。プラスであれば問題はない。

**北石狩衛生センター
長期包括的運営管理委託事業**

モニタリング要領

1 モニタリングの方法

(1) 業務報告書等の提出

事業者は、下表一覧表を基に作成した各種業務報告書等を市に提出する。

表－1 報告書及び添付資料一覧

目 次	添付資料
1 施設運営の状況 ・ 主要データ（毎月） ・ 運営維持管理の概況 ・ 運営管理状況の資料 ・ 運転管理計画 ・ 埋立状況及び計画	・ 焼却施設の運転管理記録 ・ 破碎施設の運転管理記録 ・ 搬出量動向 ・ 管理等（焼却・破碎施設）設備点検記録 ・ 最終処分場運転管理記録 ・ 消防設備点検報告（年2回）
2 環境保全 ・ 環境保全計測データ	・ 測定業務報告 ・ 分析業務報告
3 運転データ ・ 運転報告 ・ 搬出業務報告 ・ 計量記録報告	・ 運転データ ・ 計量記録月報・年報 ・ 廃蛍光管、廃乾電池処理記録
4 用役管理 ・ 薬品受払報告 ・ 電気・水道使用実績報告	・ 薬品受払簿報告 ・ 電気・水道使用量実績報告
5 分析業務 ・ 各種分析業務報告	・ 分析業務報告（毎月：焼却灰） ・ 分析業務報告（年4回：ごみ質分析） ・ 分析業務報告（年2回：ごみ組成調査） ・ 飛灰の溶出試験 ・ 最終処分場の処理水質報告
6 点検・補修実績、修繕・補修計画等 ・ 業務実績、工程表 ・ 定期点検実施報告書 ・ 修繕・補修業務計画書	・ 修繕・補修状況報告（写真等） ・ 浸出水処理点検表 ・ クレーン点検表 ・ 安全管理点検表
7 各設備機器の点検・整備、運転状況 ・ 事業所安全衛生会議実施報告 ・ 付帯設備点検報告 ・ 清掃業務報告 ・ 構内緑地の管理状況報告 ・ ダイオキシン作業記録	・ 事業所安全衛生会議等の実施状況報告 ・ 安全器具等の点検記録 ・ 第二種圧力容器自主点検報告 ・ 災害予防等の自主検査表 ・ 消防設備点検記録（総合・機器点検）

(2) 業務実施状況の確認・評価

市は、事業者から提出された各種業務報告書等を基に、業務の実施状況を確認・評価する。また、必要に応じ業務の遂行状況を直接確認・評価することができる。

なお、事業者から提出される各種事業計画書、修繕補修計画書又は業務報告書等の確認又は承認等を行うが、市は確認又は承認等を行った結果についての責任は一切負わない。

表－2 確認・評価

	事業者	石狩市
日 常	各業務の遂行状況を業務日報等にまとめ市に提出する。	業務日報等を確認する。
毎 月	業務日報、運転管理簿を基に、毎月業務報告書を作成し市に提出する。	業務報告書を確認し、業務水準の確認・評価
随 時		その他必要に応じ不定期に直接確認し業務水準の確認・評価

(3) 業務実施状況の説明機会について

業務報告書（毎月）を事業者から受取る際に、報告内容についての説明の場を設けることができるものとする。

(4) 財務状況の確認

市は、公共サービスの要求水準の確保や事業継続性を担保するため、事業者が安定的かつ継続的な施設運営が可能な財務状況にあることを確認する。

確認の方法は、市が指定する日までに事業者から提出される監査済みの財務諸表によるものとし、本事業の実施に重大な影響がある事象が確認された場合には、事業者に対し追加資料の提出、当該事象についての報告、説明を求めるほか、必要に応じ専門家による調査・確認を実施する。

【提出を要する財務諸表】

- ① 監査報告書 ② 貸借対照表 ③ 損益計算書 ④ キャッシュフロー計算書
⑤ 利益処分計算書 ⑥ 財務諸表付属明細書 ⑦ 資金繰り表

2 運転管理状況の評価方法

(1) 運転管理状況評価表の作成

- ① 市は、別紙「運転管理状況評価表」の項目ごとに、「優」～「不可」の評価を行う。
- ② 「優」～「不可」を入力することにより、係数を乗じて項目ごとの点数を算出する。
- ③ 各項目の点数を加算し、総合得点を算出する。

評 価	係 数	業 務 内 容 に 対 す る 評 価 の 考 え 方
良	1.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たし、さらに秀でた独自の創意工夫や積極的な取り組みが見られる。
可	0.60	要求水準書、提案書、契約書等の要求水準を満たしている。
不可	0.00	要求水準書、提案書、契約書等の水準を満たさず、注意点、改善点がある。

(2) 総合評価表の作成

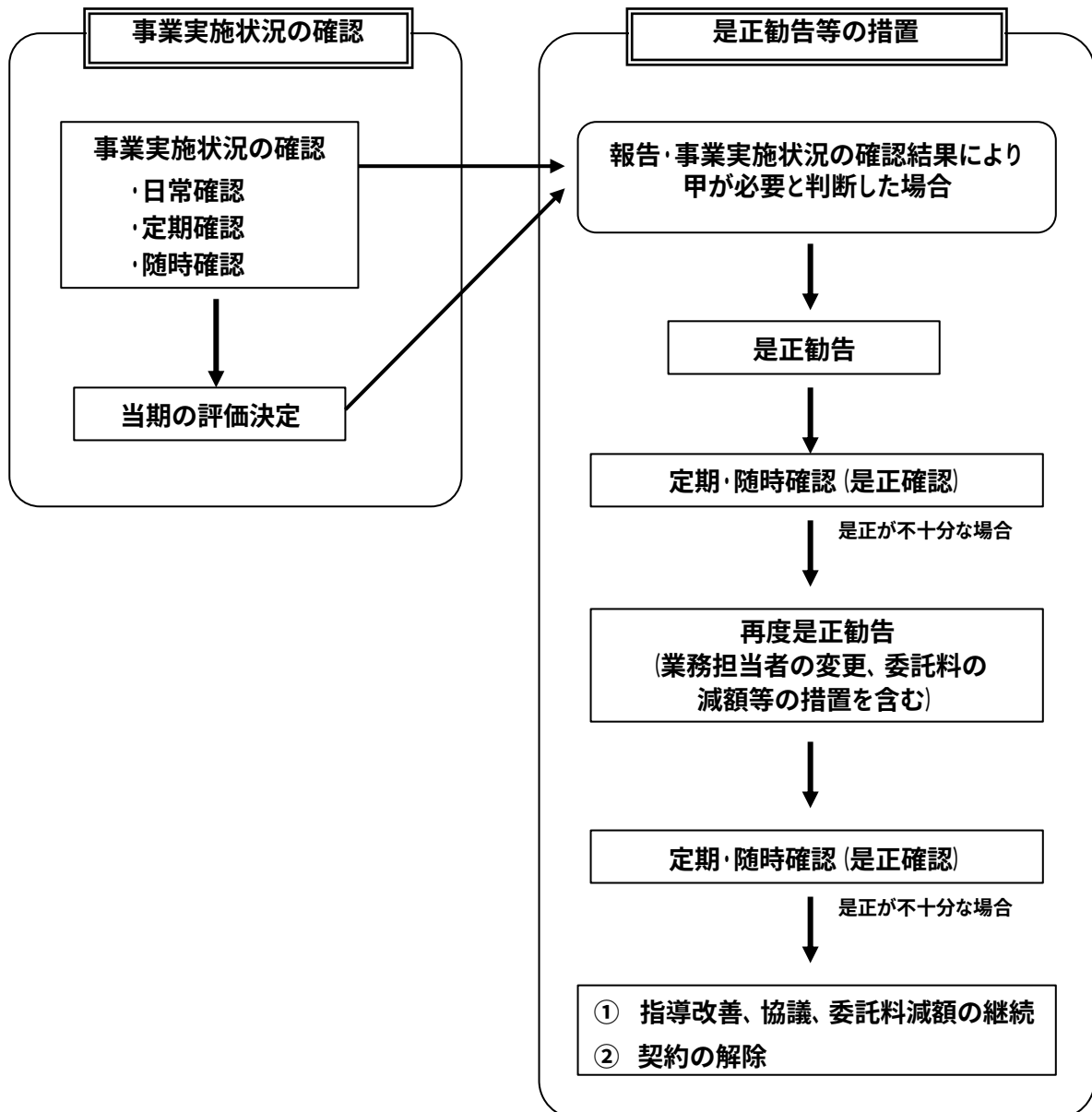
- ① 総合得点（100点満点）を基に、「A A」～「C」の総合評価を行う。
- ② 市は評価表を毎月作成し事業者へ通知する。
- ③ 総合評価が「C」の場合は、速やかに改善方法について事業者と協議するものとし、当該評価が繰り返し発生する場合、市は契約条項第38条に従い是正勧告を行うことができる。なお、再度の是正勧告に関して、市が必要と認める場合はその内容を公表することができる。

総合評価の判定基準	総合得点	総合評価
事業が確実に履行され、業務内容が非常に優秀であり民間の技術力・企画力が十分に活かされている。	80点以上	A
事業が確実に履行され、業務内容が要求水準を満たしている。	80点未満 60点以上	B
業務内容が要求水準を満たしていると認められない。	60点未満	C

3 業務不履行に関する手続

業務不履行に関する手続については、契約条項 第38条（別紙 38.1）及び、契約条項 第38条（別紙 38.2）に基づき下記の措置を行う

業務不履行に関する手続について



措置の内容		手続の概要
是正勧告	1回目	業務水準低下の内容に応じて当該業務の是正を事業者に勧告する(改善方法及び改善期日を記した計画書又は正勧告 は説明書の提出要求を含む。)。
	2回目	1 回目の勧告によっても期限内に改善が認められない場合に再度勧告を行う。
業務担当者の変更要求	協力企業の変更要求	2 回の勧告を経て改善が認められない場合で、事業者が当該業務を協力企業に委託しているときには、甲は当該業務の業務担当者の変更請求を行うことができる。
	第三者への業務委託	勧告にもかかわらず改善が認められない場合で、当該業務を事業者自らが行っているときには、当該業務を甲が指定する第三者に委託又は請負せしめることができる。
契約終了等	契約の解除	再度の勧告を経ても業務の改善が認められない場合で、甲が乙との契約継続を希望しないときには、本件契約を解除することができる。

委託料減額の手続及び方法

下記の定めに従い、再度の是正勧告に係る同センターに関する委託料を減額する。

① 減額の対象

減額の対象となる支払は、同センターに関する委託料のうち固定費分とする。

② 減額の決定過程

本件契約に規定する業務実施状況の確認の結果、甲が再度の是正勧告を行った場合、当該事象に対して勧告を行った日を起算日（同日を含む。）として、当該勧告の対象となる事象が解消される日まで、1日（1日未満は1日とする。）につき、1ポイントのペナルティポイントをカウントする。また、1事象に対して、1つの是正勧告を行い、複数の事象については、複数の是正勧告を行うこととし、各事象につき、それぞれ累積ペナルティポイントをカウントする。

③ 減額の決定

甲は、各月末時点の累積ペナルティポイントが以下に規定する基準に達した場合は、当該月に関する当該施設に係る委託料の固定費分につき、以下の該当箇所に規定される減額措置を実施する。なお、15日以内に業務の改善が行われる見込みがないと合理的に判断される場合には、甲は、乙に対し、是正勧告が行われた日から改善が行われるまで、固定費の20%を減額する。

累積ペナルティポイント	減額措置の内容
1～15	減額なし
16～30	10%の減額
31～	20%の減額

④ 委託料の減額の積算例

<ケース1>

○ 4月分の委託料(固定費分)

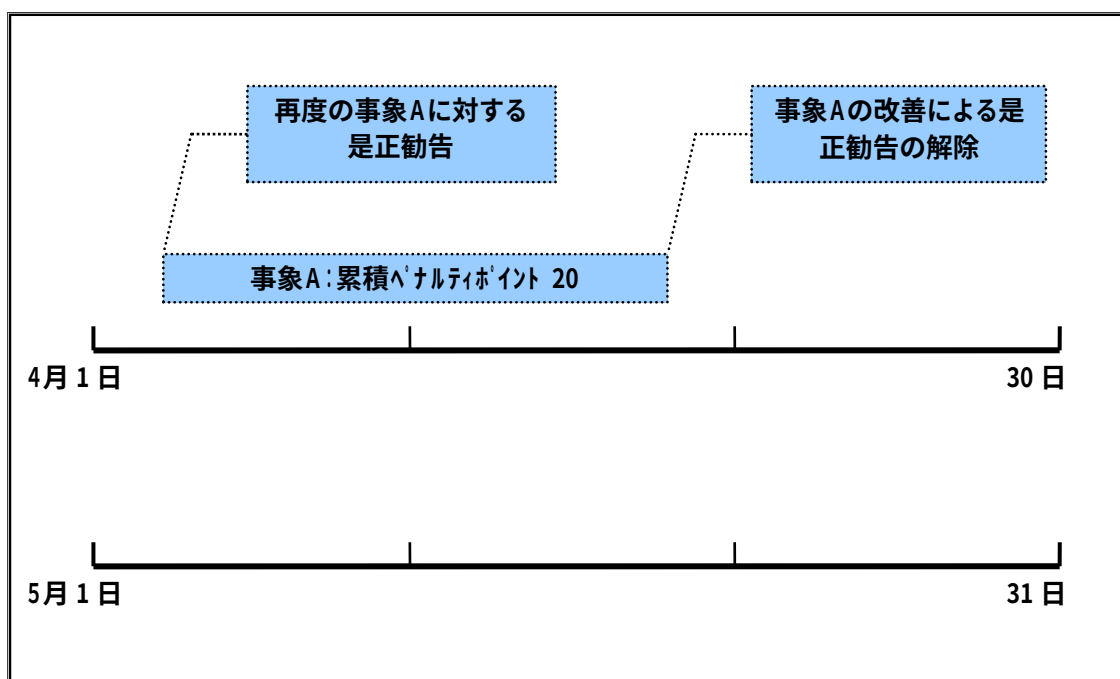
事象Aについては、甲が再度(2回目)の是正勧告を行った日から、当該事象が改善され是正勧告が解除されるまでに20日を要したことから、4月末日における事象Aの累積ペナルティポイントは「20」となる。

この場合、4月の累積ペナルティポイントは、事象Aによるもののみであるため「20」となる。(「3 減額の決定」より減額率10%)
これにより、4月分の委託料は以下ようになる。

$$\text{減額後の4月分の固定費} = \text{減額前の4月分の固定費} \times (0.9 \times 20/30 + 1 \times 10/30)$$

○ 5月分の委託料(固定料金)

通常通りの委託料(固定料金)の支払いとなる。



<ケース2>

○ 4月分の委託料(固定費分)

事象Aについては、甲が再度(2回目)の是正勧告を行った日から、4月末日までに 12 日間経過していることから、4月の事象Aに関する累積ペナルティポイントは「12」となる。この場合、4月の累積ペナルティポイントは、事象Aによるもののみであるため、「3 減額の決定」より減額率なし。

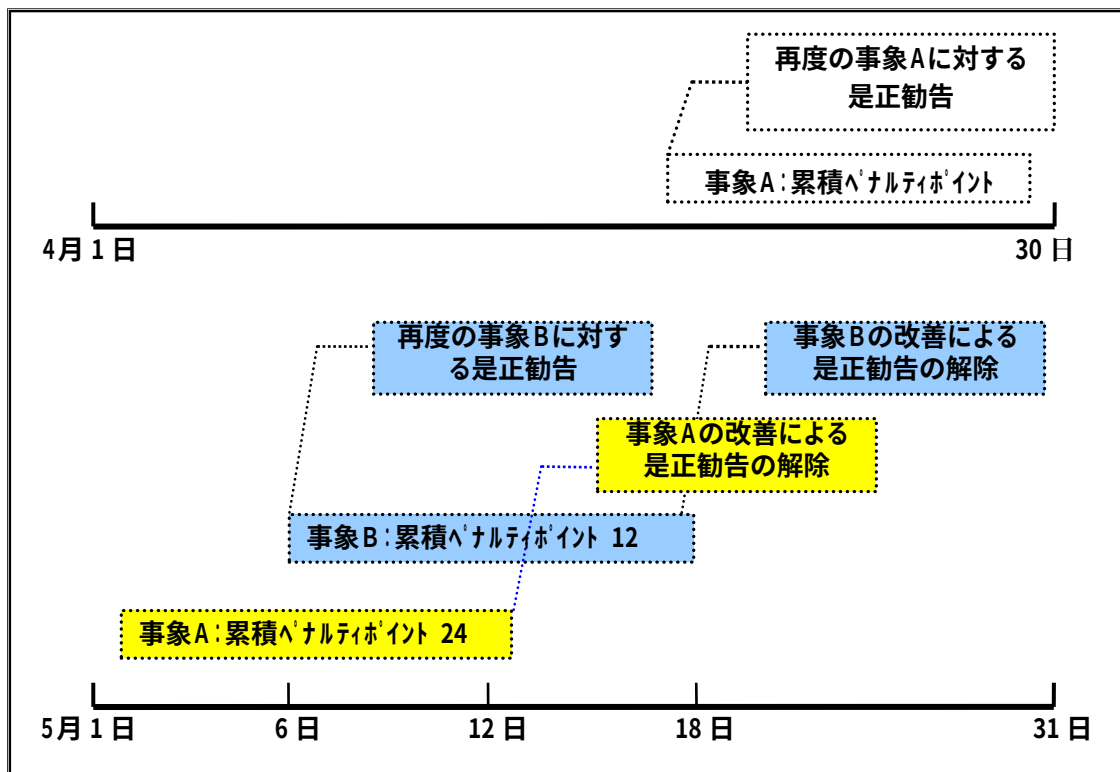
○ 5月分の委託料(固定費分)

事象Aについては、4月からの累積ペナルティポイントが「12」あり、5月についても当該事象が改善され是正勧告が解除されるまでに 12 日を要したことから、5月における事象Aの累積ペナルティポイントは「24」となる。

また、5月は新たに事象Bについて甲から再度(2回目)の是正勧告が発せられ、当該事象が改善され是正勧告が解除されるまでに 12 日を要した。これにより、5月末日における事象Bの累積ペナルティポイントは「12」となる。この場合、5月の累積ペナルティポイントは、事象A、事象Bによるものを合計した「36」となる。(「3 減額の決定」により減額率20%)

また、減額対象期間は 18 日間であることから、5月分の委託料(固定費)は以下のようになる。

$$\text{減額後の5月分の固定費} = \text{減額前の5月分の固定費} \times (0.8 \times 18/30 + 1 \times 12/30)$$



4 モニタリング結果の公表

必要に応じ、モニタリング結果についてホームページ等で公表するものとする。

なお、公表にあたっては、原則として事業者から提出された業務報告書（月報）をもとに市が行ったモニタリング結果の内容を中心に公表するものとし、公表内容の詳細については事業者の保有する著作権、情報等の流失防止等に配慮し、別途、委託事業者と協議し決定するものとする。

北石狩衛生センター運営管理状況

< 評 価 基 準 >

環境市民部

北石狩衛生センター長期包括委託 運営管理状況 <評価基準>

評価項目			業務内容	評 価	評 価 詳 細
共通	運営管理	安全衛生管理・作業環境管理	管理体制を整備し、適切な対応がなされているか	良	要求水準書に示す事項を遵守し、かつ事業者の創意工夫による管理をしている。
				可	要求水準書に示す事項を遵守している。
				不可	要求水準に示す事項を遵守していない。
		連絡調整	連絡体制を整備し、適切な連絡調整がなされているか	良	連絡体制を整備し、綿密な連絡・調整をしている。
				可	連絡体制を整備し、連絡・調整をしている。
				不可	連絡体制に不備がある、もしくは連絡・調整をしていない。
		市民対応、見学者対応	市民や見学者に対し適切な対応がなされているか	良	丁寧な対応をしている。
				可	適切な対応をしている。
				不可	適切な対応をしていない。
		調査票の回答	調査票に対し適切な対応がなされているか	良	丁寧かつ迅速な対応をしている。
				可	適切な対応をしている。
				不可	適切な対応をしていない。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。
	防災管理	事故防止管理	体制やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	良	要求水準書に示す事項を遵守し、かつ事業者の創意工夫による管理をしている。
				可	要求水準書に示す事項を遵守している。
				不可	要求水準に示す事項を遵守していない。
		防災管理	組織やマニュアルを整備し、適切な対応がなされているか	良	要求水準書に示す事項を遵守し、かつ事業者の創意工夫による管理をしている。
				可	要求水準書に示す事項を遵守している。
				不可	要求水準に示す事項を遵守していない。
	その他	清掃	施設内外の清掃及び整理・整頓がなされているか	良	清掃が行き届いている。
				可	清掃をしている。
				不可	清掃をしていない。
		植栽管理、除雪	植栽管理・除雪がなされているか	良	植栽管理あるいは除雪が行き届いている。
				可	植栽管理あるいは除雪をしている。
				不可	植栽管理あるいは除雪をしていない。
建築・計量棟	計量	計量管理	ごみの計量及び計量データの管理が適切になされているか	良	搬入・搬出物の計量をし、計量データをわかり易く取りまとめ、管理している。
				可	搬入・搬出物の計量をし、計量データの作成・管理をしている。
				不可	搬入・搬出物の計量、もしくは計量データの作成・管理をしていない。
	建築物管理	建築物の点検管理	点検・管理が適切になされているか	良	建築物の点検管理をきめ細かくしている。
				可	建築物の点検管理をしている。
				不可	建築物の点検管理をしていない。
		物品の管理	物品の調達・管理が適切になされているか	良	きめ細かな物品・用役の調達・管理をしている。
				可	物品の調達・管理をし、運転維持管理に支障を生じていない。
				不可	物品の調達・管理が適切でなく、運転維持管理に支障を生じた。

評価項目			業務内容	評 価	評 価 詳 細
焼 却 施 設	運 転 管 理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	良	短期的・長期的な運転管理を考慮した運転計画を作成し、提出している。
				可	運転計画を作成し、提出している。
				不可	運転計画を作成あるいは提出していない、もしくは不備がある。
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	良	運転計画に基づくほか、運転状況等に応じた運転管理をしている。
				可	運転計画に基づき、運転管理をしている。
				不可	運転計画に基づく運転管理をしていない、もしくは運転に支障が生じた。
		環境測定	環境測定を行っているか	良	要求水準書に示された環境測定のほか、自主的な測定をしている。
				可	要求水準書に示された環境測定をしている。
				不可	要求水準書に示された環境測定をしていない。
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	良	環境保全基準を十分満たしている。
				可	環境保全基準を満たしている。
				不可	環境保全基準を満たしていない。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。
	維 持 管 理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	良	短期的・長期的な運転管理を考慮した点検・検査・補修計画を作成し、提出している。
				可	点検・検査・補修計画を作成し、提出している。
				不可	点検・検査・補修計画を作成あるいは提出していない、もしくは不備がある。
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	良	点検・検査・補修計画に基づくほか、施設の状況等に応じた点検・検査・補修をしている。
				可	点検・検査・補修計画に基づき、点検・検査・補修をしている。
				不可	点検・検査・補修をしていない。
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	良	きめ細かな物品・用役の調達・管理をしている。
				可	物品・用役の調達・管理をし、運転維持管理に支障を生じていない。
				不可	物品・用役の調達・管理が適切でなく、運転維持管理に支障を生じた。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。
破 碎 施 設	運 転 管 理	運転計画	運転計画を作成し報告しているか	良	短期的・長期的な運転管理を考慮した運転計画を作成し、提出している。
				可	運転計画を作成し、提出している。
				不可	運転計画を作成あるいは提出していない、もしくは不備がある。
		運転管理	計画に沿って運転管理がなされているか	良	運転計画に基づくほか、運転状況等に応じた運転管理をしている。
				可	運転計画に基づき、運転管理をしている。
				不可	運転計画に基づく運転管理をしていない、もしくは運転に支障が生じた。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。

評価項目			業務内容	評 価	評 価 詳 細
破 砕 施 設	維 持 管 理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	良	短期的・長期的な運転管理を考慮した点検・検査・補修計画を作成し、提出している。
				可	点検・検査・補修計画を作成し、提出している。
				不可	点検・検査・補修計画を作成あるいは提出していない、もしくは不備がある。
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	良	点検・検査・補修計画に基づくほか、施設の状況等に応じた点検・検査・補修をしている。
				可	点検・検査・補修計画に基づき、点検・検査・補修をしている。
				不可	点検・検査・補修をしていない。
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	良	きめ細かな物品・用役の調達・管理をしている。
				可	物品・用役の調達・管理をし、運転維持管理に支障を生じていない。
				不可	物品・用役の調達・管理が適切でなく、運転維持管理に支障を生じた。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。
最 終 処 分 場	運 転 管 理	運転管理	運転計画を作成し報告しているか	良	短期的・長期的な運転管理を考慮した運転計画を作成し、提出している。
				可	運転計画を作成し、提出している。
				不可	運転計画を作成あるいは提出していない、もしくは不備がある。
		埋立管理	計画に沿って埋立管理がなされているか	良	運転計画に基づくほか、運転状況等に応じた埋立管理をしている。
				可	運転計画に基づき、埋立管理をしている。
				不可	運転計画に基づく埋立管理をしていない、もしくは埋立に支障が生じた。
		環境測定	環境測定を行っているか	良	要求水準書に示された環境測定のほか、自主的な測定をしている。
				可	要求水準書に示された環境測定をしている。
				不可	要求水準書に示された環境測定をしていない。
		環境保全基準	環境保全基準を満たしているか	良	環境保全基準を十分満たしている。
				可	環境保全基準を満たしている。
				不可	環境保全基準を満たしていない。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。
	維 持 管 理	点検・検査・補修計画	点検・検査・補修計画を作成し報告しているか	良	短期的・長期的な運転管理を考慮した点検・検査・補修計画を作成し、提出している。
				可	点検・検査・補修計画を作成し、提出している。
				不可	点検・検査・補修計画を作成あるいは提出していない、もしくは不備がある。
		点検・検査・補修	計画に沿って点検・検査・補修がなされているか	良	点検・検査・補修計画に基づくほか、施設の状況等に応じた点検・検査・補修をしている。
				可	点検・検査・補修計画に基づき、点検・検査・補修をしている。
				不可	点検・検査・補修をしていない。
		物品・用役の管理	物品・用役の調達・管理が適切になされているか	良	きめ細かな物品・用役の調達・管理をしている。
				可	物品・用役の調達・管理をし、運転維持管理に支障を生じていない。
				不可	物品・用役の調達・管理が適切でなく、運転維持管理に支障を生じた。
		帳票類の管理	帳票類を作成・管理しているか	良	帳票類をわかり易く作成し、管理している。
				可	帳票類を作成し、管理している。
				不可	帳票類の作成・管理に不備がある。